

## 申12、13号会社回答を受けて

続々と

若手の怒りの声が届いています！！③

社員1人ひとりの労働密度は効率化を担い、高まっており、職責関係なく仕事はきつくなっている。職責による格差がつけられると働くモチベーションが下がる。

同期が次々に退職している。離職に対して本気で考えているのか分からない。期末手当が年間6カ月を超えているという魅力があって入社したが、その魅力も無くなるとモチベーションなど上がるわけがない！

4月からの初任給特別措置を入れることで「6%超」と見せるようにしたと思わざるを得ない！

社員数が減少し、1人当たりの仕事量や売り上げは向上しているが、それを受け止めた回答と思えない。

バアに格差をつけるのはおかしい。合理的な差とあるが社員の生活や将来を考えているのであれば平等にするべき！若手が離職をしているのは基本給が上がらない事も要因の一つ！考えるべきだ！

業務の融合等が進む中、賃金が抑制されるのは納得できない！

要求に達していない。定期昇給係数4の完全実施のみだ！現場の苦勞に報いて満額回答をするべきだ！

昨年よりも格差が広がっていて、物価高騰に苦しむ社員に寄り添った回答とは思えない！厳しいのは会社の経営でなく、社員の生活だ！

### 会社回答には納得できない！！

### 会社回答に対しての議論を職場からつくろう！

